授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅰ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章	実務経験の有無	有	開講期	２年前期
科目ナンバリング	W5-2001sp				

【授業の主題】

ソーシャルワークとは何か（定義）、現代社会におけるその役割と理念・価値基盤を理解する。人と環境の接点・相互作用に関して、何に着目し、何を変革していくかについて社会福祉援助における「視点」を理解できるようにする。ミクロ・メゾ・マクロの焦点、個人・家族・組織・地域・社会の相互関係を理解できるようにする。

ソーシャルワーカーは、利用者をより深く理解することに加えて、援助者として関わる自分自身についての理解も求められる。本演習では、ソーシャルワーカーとして自己覚知を行うと共に、基本的なコミュニケーション技術や面接技術を体験的に学ぶ。

【到達目標】

１．ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を踏まえ，社会福祉士及び精神保健福祉士として求められる基礎的な能力を涵養する。
２．ソーシャルワークの価値規範と倫理を実践的に理解する。
３．ソーシャルワークの実践に必要なコミュニケーション能力を養う。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーション、ソーシャルワークの定義
第 2 回　ソーシャルワーカーの使命と役割の理解
第 3 回　人と環境の相互作用
第 4 回　専門職としての価値・倫理と自己覚知
第 5 回　生活史把握の意義
第 6 回　自己理解、他者理解
第 7 回　記録技法
第 8 回　情報整理法
第 9 回　基本的なコミュニケーション技術の習得①
第 10 回　基本的なコミュニケーション技術の習得②
第 11 回　面接技法についての理解①　～面接の構造化～
第 12 回　面接技法についての理解②　～面接の環境づくり～
第 13 回　面接技法についての理解③　～面接技術～
第 14 回　面接技法についての理解④　～ツールの活用～
第 15 回　演習のまとめ～学習成果の振り返り～

【授業実施方法】

基本的には演習形式とする。本演習はプロジェクターを用いた視聴覚プレゼンテーション、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を行う参加型授業形態で実施する。

【事前・事後学習】

毎回、テキストを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。福祉関連の専門用語が多く出るので十分に調べておくこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

最新 社会福祉士養成講座 13 ソーシャルワーク演習（共通科目） 中央法規出版 2021 年版

【参考文献】

必要に応じて授業中に適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業態度 10%、提出物 60%、ロールプレイ等への参加状況 30%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で生活相談員として勤務してきた。数々の相談業務の経験を活かし、実践的な相談援助の知識及び技術を伝えたい。

【学生へのメッセージ】

具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とする参加型授業形態なので、積極性を発揮してもらいたい。